

1. 活動報告

【人と鹿の共生のための森づくりと環境教育】(イオン環境財団助成)

予定通り体験会を4日、作業日を8日、井戸理事を中心に富士山西麓で実施しました。コロナの影響もあり、地元を中心とした少人数での実施となりましたが、適切な対策をとり実施することができました。体験会では、間伐作業と、間伐材を活用した鹿柵づくりを、環境教育を踏まえ森づくり活動をおこないました。

- 6月5日(金):作業日(森づくり活動補助:井戸、知念)他3名
- 6月24日(水):体験会(森づくり活動補助:井戸)参加者5名
- 6月28日(日):作業日(森づくり活動補助:井戸、知念)他3名
- 7月22日(水):作業日(森づくり活動補助:井戸、大井)他1名
- 8月7日(木):作業日(森づくり活動補助:井戸、大井)他1名
- 8月22日(土):体験会(森づくり活動補助:井戸)参加者7名
- 10月16日(金):作業日(森づくり活動補助:井戸)他3名
- 10月24日(土):作業日(森づくり活動補助:知念)参加者1名
- 10月25日(日):体験会(森づくり活動補助:井戸)他12名
- 11月4日(水):作業日(森づくり活動補助:知念)他2名
- 11月14日(土):作業日(森づくり活動補助:井戸)他1名
- 12月21日(月):体験会(森づくり活動補助:大井)参加者7名

以上、合計延べ56名が参加しました。

【ワークショップ】(イオン環境財団助成)

予定通り6日実施しました。鹿肉、鹿革や鹿角などを利用したワークショップを、活用の意義などを伝えながら活動をおこないました。

- 8月12日(水):鹿革クラフトワークショップを静岡県静岡市の常葉大学で澤野講師の下実施し、30名が参加しました。
- 9月5日(土):鹿肉試食と鹿革クラフトワークショップを静岡県富士宮市のふもとつばらキャンプ場で実施しました。コロナ対策のため、鹿肉試食と鹿革クラフトワークショップを各3回実施し、合計60名参加しました。他にスタッフとして7名が参加しました。
- 12月5(土)、6日(日)鹿革・骨ワークショップ(5,6日)を港区立環境プラザにて実施。コロナ対策のため、ワークショップは少人数に限定し、約20名が参加した。
- 1月17日(日)に静岡県沼津市において、鹿肉試食と鹿解体ワークショップを実施した。地元中心に参加者を限定した(6名参加)。
- 2月20日(土)に富士宮市にて、鹿革ワークショップを地元民を中心に18名が参加して実施した。

【シンポジウム・講演会】(イオン環境財団等助成)

- 12月6日(日)にシンポジウム(鹿革の伝統的な利用-蹴鞠・流鏝馬)をオンラインで実施し、約80名が参加した。日本鹿研究12号掲載
- 2月20日(土)に富士宮市にて、鹿肉講演会(市川陽子静岡県立大学教授:地元特産品を使った鹿肉の加工について)を実施した。コロナ対策のためオンラインでも実施し、約30名が参加した。日本鹿研究12号掲載

【展示会】

12月3日(木)~6日(日)東京の港区立環境プラザにおいて、鹿問題に関するポスター展示を行った。また、12月6日(日)は国産鹿革を使った作家さんによる鹿革製品の展示会を行った。

【海外研修】

予定していた第8回世界鹿会議はコロナ禍のため、延期となった。

2. 総会の開催

6月30日に理事会・総会をメールで実施した。

3. 普及啓発

- 1) 日本鹿研究第11号を6月に発行した
- 2) 鹿ニュースを月2回会員へメール配信した。

4. 国際交流

- 1) 中国養鹿協会会員とメール等で現状報告を行った。日本鹿研究12号掲載

5. 組織整備

- 1) 幹事会、事務局会議を5月24日、6月7日、7月14日、8月10日、10月24日、理事懇談会を11月30日にオンラインで実施した。
- 2) 事業担当制による各理事・事務局員の責任分担制を推進した。
- 3) 外部資金の獲得による財政体制の強化 イオン環境活動助成金による活動を実施した。
- 4) 日本ペットフード協会の受託研究や、富士宮食のひらめき会（静岡県中小企業団体中央会助成）との共催事業（2月の講演会・ワークショップ、富士宮特産品の開発）を行った。

6. ホームページ、フェイスブックの定期的な更新を行った。